

精神障害者の就労移行を促進するための研究  
分担研究報告書

リワーク施設職員の研修体制および評価に関する研究

（分担研究者） 五十嵐良雄 メディカルケア虎ノ門 院長

研究要旨：リワーク実施施設でのプログラムの均てん化を図るため、施設職員が受けるべき研修の内容について検討し、新体制での「基礎コース」「専門コース」研修を実施した。今回実施した研修の次の段階として、実地研修も取り入れて実地に役立つ研修体制を構築する。実地研修は、来年度、実施に向けた準備を進めていく予定である。また、リワーク実施施設の人員、設備、プログラム内容について、標準化リワークプログラムの内容に準じたプログラム構成を重視し、各施設におけるプログラムの質の担保が確認できるような内部評価項目の検討を行い、外部評価を行うための方策の検討も実施した。

研究協力者：

佐々木一（心の風クリニック）

飯島優子（メディカルケア虎ノ門）

岡崎渉（N T T東日本関東病院）

蔵屋鉄平（品川駅前メンタルクリニック）

仙頭彩奈（心の風クリニック）

林俊秀（メディカルケア虎ノ門、うつ病リワーク研究会）

#### A. 研究目的

昨年度まで、うつ病リワーク研究会ではリワークプログラムを実施している施設の管理者および職員に対して研修事業を行ってきた。プログラムの均てん化を図るためには、スタッフに対する充実した研修と同時に、その医療機関の管理者や開設者がプログラム実施にあたって重要な要素についての知識を獲得することが必要と考えており、その視点を入れた研修内容を作成する方向で検討を進める。研修受け入れ施設における実地の研修に関しても組み込んだ研修プログラムを作成する。また研修システムの

拡充により各施設のレベルを向上させ全国での均てん化を図るとともに、リワーク施設に対する内部での評価を行い、外部からの評価の仕組みのあり方に関してさらに研究を行う。

#### B. 研究方法

2015年5月9日、同年7月4日、同年10月17日、同年11月4日、2016年1月23日の計5回リワーク研究会に所属する計4施設の担当者が会合を持ち、検討を行った。

## C. 研究結果

### 1. 研修事業内容

#### i. 研修日程

前年度に作成した研修体制案に従い、新体制では、「基礎コース（1日間）」→「専門コース（2日間）」→「実地研修（2～3日間）」→「レポート審査」→「認定」という流れで実施する方向で決定した。今年度は「基礎コース」と「専門コース」の研修内容を作成し、2016年3月20日に「基礎コース」を、2016年3月20日、21日に「専門コース」を開催した。

#### ii. 研修内容

「基礎コース」は当初の予定どおり、リワークに興味を持ち、詳しい内容を知りたいが、まだ実際に導入するか決めていない方々と、リワークを開始予定、または既にリワークを実施した経験のある方々を対象とした。これに対し、「専門コース」は、リワークを開始予定、または既にリワークを実施した経験のある方で、基礎コースを受講したことのある方を対象とした。「基礎コース」では、リワークプログラムのスタッフとしての資質、基本的な知識を身に付けることを目指し、「専門コース」では、事例やプログラムの実例を多く盛り込み、リワークプログラムの実践の場で活用できる知識、技術について学ぶことを目指し、各研修内容を作成した。「基礎コース」と「専門コース」では、それぞれの日の最後に設けたグループディスカッション以外は、原則、パワーポイントを使用した講義形式とした。なお、グループディスカッションでは、対象者の特性を考慮し、内容に違いを持たせた。「基礎コース」のグループディスカッションでは、事例を用いたケース検討を行い、「専門コース」のグループディスカッ

ションでは、すでに実践経験のある参加者もいることから、実際の事例を持ち寄り、ケース検討を行うか、現在現場で困っていることなどについて話し合うといった交流を重視した内容とした。

講師の選定に関しては、リワーク研究会、ワーキングチームへ参画している医療機関を中心にリワークプログラムの経験が豊富な方や今までに講師の経験のある方から選定を行った。

#### iii. 研修認定

リワーク研修を修了した者については、受講認定を賦与し、リワーク施設内の医師1名、コメディカルスタッフ1名の計2名の認定者が所属することが、リワーク施設として認定される条件とすることとした。本年度は、各研修の参加者を募集する際に、今後、認定制度の導入を行う予定があることについて周知した。なお、受講者に対しては、認定制度が開始したときに用いることができる「受講証」を発行した。

それぞれのコースのタイムスケジュールとテーマを図1・図2に示す。

### 2. 内部評価および外部評価

前年度に引き続き、評価項目の検討、選定を行った。各施設のプログラムの質を担保するために、認定制度を視野に入れ、認定を受けた職員がいるか否かの項目を追加することや、標準化プログラムを基礎にしてプログラム構成や内容の評価を行う仕組みを構築する方策について、検討を行った。今回、選定した項目をもとに、内部評価に関するチェックリストを作成する方向で準備を進めている。内部評価、外部評価ともに、精神科デイケアとリワークプログラムとの違いについて明らかにするために、リ

ワーク実施各施設に対してリワークプログラム独自の項目、要素について、ヒアリングするアンケートを実施する方向で検討を進めた。外部評価に関しては、体制を構築するための情報収集を行った。

#### D. 考察

本年度は、研修事業内の「基礎コース」と「専門コース」の講師を選定し、各コースの研修会を実施した。今後、今回のアンケート結果をもとに再度研修内容の精査を行い、認定制度にふさわしい研修内容の充実を図るとともに、地方都市での開催も視野に入れ、今回担当した講師以外の方でも同じ内容のプログラムを担当できるよう、資料作成について工夫を重ねていく必要がある。

また、内部評価、外部評価の項目選定に関しては、実態とかけ離れた内容になることは避けなければならない。そのためにも、精神科デイケアとリワークプログラムとの違いについて明らかにするために、リワーク実施各施設に対してリワークプログラム独自の項目、要素について、ヒアリングするアンケートを実施し、その内容を参考にして、内部評価のチェックリストを作成する。外部評価に関しては、本年度実施した情報収集の内容をもとにして、体制構築を行っていく予定である。

#### E. 結論

本年度は、研修事業内の「基礎コース」と「専門コース」を開催した。参加者募集の際、研修認定の導入について周知を行い、「専門コース」を受講した参加者に対して、研修認定が導入されたときに使用することができる「受講証」を発行した。内部評価に関しては、昨年度に引き続き、リワークプログラムの質の担保を目指した内部評価項目の検討を行い、外部評価に関しては、体制構築に向けた情報収集を行った。

F. 健康危険情報  
なし

#### G. 研究発表

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む。)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

図 1

基礎コース		
タイムスケジュール	テーマ	時間
9:30～10:00	受付開始	30分
10:00～10:50	現代的意義、経緯と背景	50分
10:50～11:40	うつ病に関する心理教育、プログラム作成のポイント	50分
11:40～12:40		60分
12:40～13:30	リワークにおける就労支援（失職者に対する就労支援の実践について、研究会で過去に実施した失職者対象のアンケート結果も含めて）	50分
13:30～14:20	リワークの対象疾患に伴う症状の出方（利用対象者の絞り方を含む）	50分
14:20～14:30		10分
14:30～16:00	ケース紹介10分	90分
	グループディスカッション60分	
	発表20分	
16:00		

図 2

専門コース 1日目

タイムスケジュール	テーマ	時間
9:30～10:00		30分
10:00～10:50	疾病ごとの特徴とかかわり方（時期によってのかかわり方のポイント／症状のとらえ方／うつ病、双極性障害、発達障害、睡眠障害など各疾患の説明／発達障害に対する心理検査の組み方）	50分
10:50～11:40	産業保健システム概論（仮）	50分
11:40～12:40		60分
12:40～13:30	プログラム運営上、必要な連携の取り方（職場とのコンタクト[医療機関側から職場にコンタクトをとる場面を中心に]／家族とのコミュニケーション／症状の医師への伝え方／他院患者受入れ時の対応の具体例）	50分
13:30～14:20	評価のポイント（標準化評価シートの使い方—具体的な症例を入れてスコアリングの方法を伝える／心理検査、生活記録表[2～3種]を紹介）	50分
14:20～14:30		10分
14:30～16:00	参加者からケースを挙げてもらうもしくは、他施設に聞いてみたいこと、現場で困っていることなどの交流会的な要素を取り入れて進行する	90分
	発表20分	
16:00		

## 専門コース 2日目

タイムスケジュール	テーマ	時間
10:00～10:50	施設ごとのプログラム内容の紹介(2施設程度の内容紹介／プログラムの時間割について／集団プログラム・ディベート・復職後のグループミーティング・ピアサポートなどの紹介)	50分
10:50～11:40	プログラム上のアクシデントへの対応(プログラムにのらないケースへの対応／アクシデントを防ぐための取決め・規則の紹介や参加同意書の例・標準フォーマットの例示)	50分
11:40～12:40		60分
12:40～13:30	個人面接の仕方(集団との関わり方／距離の取り方／担当制の是非など)	50分
13:30～14:20	職種ごとの役割、関係の取り方(専門職種のアイデンティティー／情報共有の仕方／スタッフ内のトラブルへの対処法)	50分
14:20～14:30		10分
14:30～16:00	参加者からケースを挙げてもらおうもしくは、他施設に聞いてみたいこと、現場で困っていることなどの交流会的な要素を取り入れて進行する 発表20分	90分
16:00		

### ※専門コースのグループディスカッション:

当日配布の講義資料と一緒に所属するグループ名の記載された紙を配布。

1日目は異なるグループ編成で、より多くの人と交流する機会を設け、幅広く情報交換できるようにする。